

2025年1月30日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

大腸癌治療に関する後方視的研究

[研究の背景と目的]

大腸癌治療に関しては「大腸癌治療ガイドライン」が発刊されてある程度の標準治療が確立されつつある。ただし、大腸癌治療に関してはまだ標準化されていない。今後は大腸癌治療の標準化が必要となってくる。標準化できない問題点がいくつかある。診断精度、縫合不全の問題、局所再発の問題、低侵襲手術の有用性の問題、予後不良大腸癌の存在などである。このように大腸癌治療に関してはいまだに解決すべき問題が多く標準治療が確立されていない。当院における大腸癌治療成績を包括的に解析し、今後の治療に役に立てることが必要である。

大腸癌において、当院での治療成績を解析し、診断精度、合併症率、局所再発率、再発率、予後を明らかにし、それらに影響を与える因子を検討する。さらにその結果に基づいた治療方針を検討する。

[研究の方法]

対象となる方

2013年1月1日から2025年1月30日までに東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科にて外科手術を行った20歳以上の大腸癌患者

研究期間

医療倫理審査委員会承認後から2030年12月31日

利用する検体やカルテ情報

患者背景(年齢、性別、現病歴、既往歴、併存疾患、身長、体重、薬歴)

画像(内視鏡画像、注腸画像、CT画像、MRI画像、PET画像)

術前治療歴、手術記録、術後合併症、術後化学療法、術後再発、再発形式、予後
血液検査データ、切除標本の病理結果

検体や情報の管理

本研究で集めたデータは、個人情報保護法の趣旨に沿って厳重に管理させていただきます。
個人情報を記載した資料は、適切な管理の下、第三者からの不正アクセス、第三者への漏えいの防止および紛失の防止等その他の安全管理を厳重に行います。

[研究組織]

研究代表者:東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科
准教授 石崎哲央

分担研究者:東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科
主任教授 河地茂行
准教授 千葉斉一
講師 田淵 悟
助教 小林敏倫
助教 横塚 慧

[個人情報の取扱い]

患者さんの情報は原則として院内で取り扱われますので、患者さん個人を特定する一切の情報は院外に持ち出されることはありません。この研究の結果は学会発表や学術雑誌および、データベース上で公に発表されることはありますが、協力者の氏名や個人を特定するような情報は一切公表されません。

解析を開始する前には、消化器外科・移植外科 石崎哲央(准教授)により厳重に個人情報を保護し、まず患者さんに関する記録から患者さんを識別できる情報を削除し、代わりに符合や番号による個人との対応表を残しておき、必要な場合に患者さんを特定できるようにしておきます。この対応表は石崎哲央(准教授)が厳重に保管させていただきます。

[問い合わせ先]

東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科
准教授 石崎哲央 (2361)

TEL 042-665-5611、 e-mail: tetsuo-i@tokyo-med.ac.jp